

令和7年度 学校経営計画（案）

学校教育目標	夢と志をもち、自ら学び、共によりよく生きようとする砥川っ子の育成 「勤儉力行」 ～たくましく しなやかに～	
学 校 像	子 ど も 像	教 師 像
・明るく活気に満ちた学校 ・落ち着いた美しい学校 ・家庭や地域に開かれた学校	勤 まじめに取り組む 儉 けじめのある生活をする 力 自分の力を出し切る 行 進んで行動する	・子どもに寄り添う教師 ・学び続ける教師 ・楽しく協働する教師 【人間性・専門性・協働性】
校長の経営方針	『今日が楽しく、明日が待ち遠しく思える学校』 ・一心一徳 ・異体同心 ○ 魅力的で笑顔に満ちた児童を育てる ○ 魅力的で活気に満ちた教職員になる ○ 魅力的で家庭や地域に愛される学校になる	
教育目標達成のための重点取り組み		
項 目	重点取組内容	本年度の具体的な取組
①学力の向上 (ICT活用教育を含む)	○全職員による共通理解と 共通実践 ○校内研究の推進による授 業力向上 ○一人1台端末の有効活用	・基礎的基本的な力を身に付ける。 ・学力向上対策評価シートを活かしたPDCA サイクルの構築を図る。 ・意欲を育む指導と評価の充実を図る ・話し合い活動の工夫や授業のUD化を図る。 ・ICT機器や情報の活用力を高める。 ・PCを活用した授業や環境を構築する。
②心の教育 (いじめ防止を含む)	○夢や目標の実現に向けて 意欲的に取組もうとする 児童の育成 ○自己肯定感をもち、思い やりあふれる児童の育成 ○いじめの未然防止、早期 発見・解決、再発防止	・出番、役割、承認のサイクルを意識した取 組みを進め、発達支持的生徒指導を浸透さ せる。 ・道徳教育、人権・同和教育を核とし教育活 動全体を通して、自分のよさや可能性を認 識させるとともに、あらゆる他者を尊重す る態度を育てる。 ・定期的な心のアンケートや法によるいじめ の定義の職員への徹底を図り、児童が安心 ・安全な学校生活が送れるようにする。
	○基本的な生活習慣の徹底 ○スポーツチャレンジへの	・家庭と協力し「早寝・早起き・朝ご飯」の 取り組みの徹底を図る。 ・積極的な取り組みを通して個や全体の体力

③健康・体づくり	積極的参加 ○食育の推進	を高めるとともに、運動の楽しさ、集う楽しさを味わわせる。 給食センターの栄養教諭や養護教諭と連携し、食の大切さや世界の状況を理解させる指導を行う。
④業務改善・教職員の働き方改革の推進	○働き方改革の本質の徹底 ○時間外勤務上限の遵守	- 行事や会議を効率的で効果的に削減、凝縮し、子どもと向き合う時間を確保する。 - 家庭・地域に対し、教員の本務に専念できる環境作りへの協力・連携を依頼する。 「ON/OFF」の切り替えができ活気に満ちた状態で働く姿を児童に見せるようメリハリをつけた業務遂行を行う魅力ある教員となる。 - 定時退勤日を設け全員が確実に実施する。 - 業務に注力する内容の軽重を考えることにより、個人の勤務超過時間を平均40時間以内にすると共に、年休取得日数1人あたり14日以上を目指す。
⑤特別支援教育の充実	○特別支援教育の充実と拡散	- 個別の指導計画及び特別な教育課程の詳細な立案により、支援を要する児童への個に応じた対応を徹底する。 - 全職員で全児童を育てるために、児童の情報共有と指導の方向性の確認を行う。 - 職員研修の実施により、インクルーシブ教育の視点で通常学級でも個別の支援を行える教員となる。
⑥学校独自の項目	○地域との連携による互恵性のある教育活動の創造 ○南九州市立宮脇小学校とのオンライン交流	- 地域連携室との連携により、学校を開き、地域の力を活用して児童が生き生きと学習できる環境を構築する。 - 児童が地域の方に感謝する機会をその都度設け、地域も活性化する方法を探る。 - 交流地域の歴史や文化、特徴などに関心をもつとともに、ふるさと砥川の良さを発信していくことで、誇りと愛着を深める。